



# 環境省から一般廃棄物処理事業実態調査の結果が公表されました

一般廃棄物処理事業実態調査（令和4年度実績）の調査結果が環境省から公表され、長野県の1人1日当たりのごみ排出量は802グラムとなりました。

## 1 調査概要

環境省は都道府県を通じて市町村に照会し、全国の家などから排出される一般廃棄物の量や処理状況について、毎年その実態を調査しています。

※調査結果は、以下の環境省ホームページからご覧いただけます。

[http://www.env.go.jp/recycle/waste\\_tech/ippan/index.html](http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/index.html)

## 2 調査結果

長野県の1人1日当たりのごみ排出量は、コロナ禍からの社会経済活動の回復の動き等により、令和3年度実績と比べて2グラム増えて802グラム（全国第4位）となりました。事業系ごみがやや増加しましたが、生活系ごみは直近10年間で最も低い水準となりました※。

※1人1日当たりの生活系ごみ及び事業系ごみの排出量

- ・生活系ごみ 545グラム（令和3年度実績と比べて5グラム減）
- ・事業系ごみ 257グラム（令和3年度実績と比べて7グラム増）

## 3 県の取組

「長野県廃棄物処理計画（第5期）」で目標に掲げる「1人1日当たりのごみ排出量790グラム（令和7年度）」の達成を目指し、県民、事業者、市町村など多くの皆様とともに、以下の取組を更に進めます。

### (1) 食品ロス削減の推進

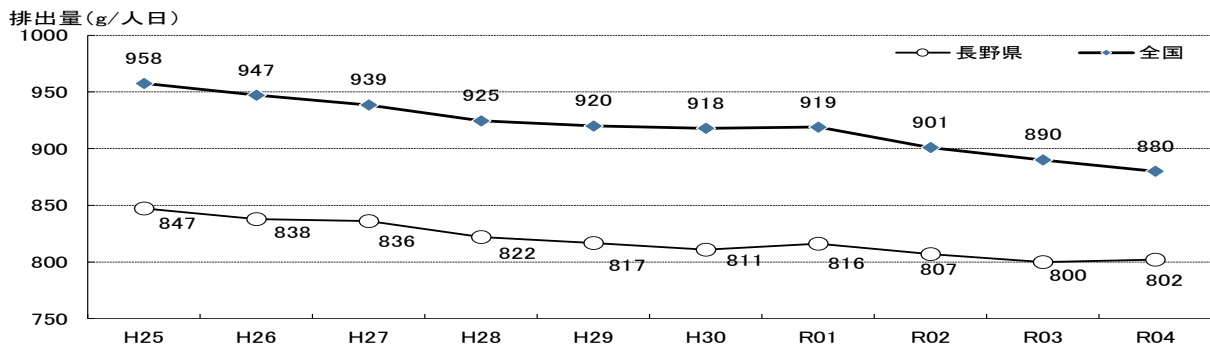
○食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～の推進

- ・残さず食べよう！30・10運動、信州発もったいないキャンペーンを通じて、消費者や事業者の皆様へ、食べ残しや食品ロスの削減を呼びかけます。
- ・フードドライブの開催等により未利用食品の提供を呼び掛けます。
- ・県民運動を広げるため、県内事業者の皆様へ協力店への新規登録を呼びかけるとともに、既存登録店に取組の再確認を依頼します。

### (2) 信州プラスチックスマート運動の推進

○紙やプラスチック使用商品等の過剰包装を削減していくため、消費者の皆様へ簡易包装商品の購入や選択を呼びかける「簡易包装プロモート事業」を実施します。

## [参考]過去10年間のごみ排出量の推移（全国平均と長野県）



くらしの足元、ふと見つめ直す。  
そこからはじまる暮らしの  
ゼロカーボンシフト「くらしふと」

くらしふと信州

WEBサイトはこちら



(問合せ先)

担当 環境部資源循環推進課 田中、玉井

電話 026-235-7187 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線 2797

F A X 026-235-7259

E-mail junkan@pref.nagano.lg.jp